

# 市町村合併について

## なぜ、市町村合併なのでしょう

町では、前回の合併協議破綻後「白岡町改革推進プログラム」を策定し、現在、行財政改革に取り組んでいます。地方分権、「財政健全化」という大きな課題に直面しています。

これらの課題を乗り越えて、自立したまちづくりを進めていくためには、町の基礎体力（行財政基盤）を強化して、効率的な行財政運営を進める必要があります。

## まちづくりの課題

### 地方分権の推進への対応

地方でできることは地方で住民に最も身近な市町村について、規模・能力の充実が大切

### 少子高齢化の進展への対応

人口減社会に突入  
少子高齢化に対応した、サービス提供・専門スタッフが必要

### 広域的な行政需要の増大への対応

日常生活圏（通勤、通学、買い物等）の拡大に応じた、市町村の拡大が必要

### 行政改革の推進への対応

極めて厳しい財政状況。国・地方とも、より簡素で効率的な行財政運営が必要

これらの課題に対応するために

基礎自治体である市町村の行財政基盤を強化

そのための手段として

## 市町村合併

市町村合併は、それ自体が目的ではなく、地域を取り巻く諸課題に対応していくための有効な手段の一つです。

## なぜ、期限内合併を目指すのでしょうか

合併新法には、市町村の合併がスムーズに行われるように、財政支援策や障害を取り除く方策など

特例措置が盛り込まれているほか、国や県でも支援策が用意されています。

## 財政支援

合併協議にかかる経費や住民説明等の費用、合併した市町村の一体化の促進のための経費などについて、県の交付金及び国の地方交付税措置などの財政支援があります。

## 公共事業の優先採択等

道路整備等の公共事業や国庫補助事業について、国の新市町村合併支援プランに基づき、優先採択や重点実施等が行われます。

## 普通交付税の算定の特例（合併算定替え）

合併がなかったものと仮定して毎年算定した普通交付税の額が5年間保障されます。また、その後、5年間の激変緩和措置があります。

なお、これらの特例措置や支援策は、平成22年3月末までに合併しなければ受けられません。財政的な支援や特例を受けて合併することができる最後の機会です。

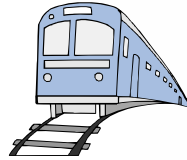
# 蓮田市と白岡町の対等合併は

## こんな理由から必要とされています

**1** 地理的にも、歴史的にも  
共通点が多くあります。

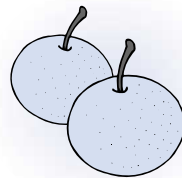
2つの市町は、地形や面積、また土地利用の状況などが類似しております。歴史的にも、南埼玉郡として、JR宇都宮線の駅（蓮田駅、白岡駅、新白岡駅）を中心に発展してきました。

行政境が1番多く接している市町で、住民相互の生活圏がほぼ一致しております。



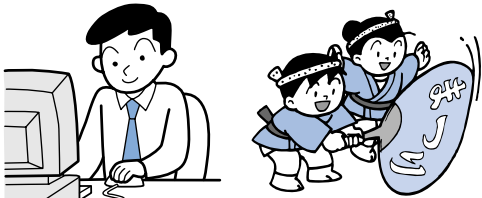
**3** 広域的視点に立った総合的な地域の活力強化が図れます。

梨などの農産物や類以観光資源を始め、産業、歴史、文化、自然などの両地域に数多くある共通点を最大限に活用することにより、地域の一層の活力強化が可能となります。



**4** 住民の利便性の向上が図られます。

市町単位で実施しているイベントや講座などの事業についても、参加の拡大が図れます。現在も広域利用となっており、将来の公共施設のネットワーク化を図ることで、一層の施設の有効活用を図ることが可能となります。



**5** 真に公平な対等合併が進められます。

蓮田市との合併は、切っても切れない友好関係にある自治体同士という点です。真に公平な対等合併ができる相手として、白岡町に對して友好的関係を示しております。合併を進める市町村の中には、正式な協議前から、協議内容について、自己主張の強弱と異なる点もありません。蓮田市との合併推進は、このような点から、当然の将来性に信頼がかけられるものです。



## 質問にお答えします

**Q**<sub>1</sub> なぜ、蓮田市と白岡町だけの合併なの？

**A**<sub>1</sub> 今回の合併は、県の合併推進構想の組合せ（3市6町など）より、少ないものです。これは、昨年まで意見交換を重ねてきましたが、平成22年3月末までの合併新法期限内を考慮し、可能と思われる実現性を最大限に考慮し進めているものです。今後、更なる次の合併推進もあり得ますが、実現可能な組合せで、早期に進めようとするものです。

**Q**<sub>2</sub> 合併すると地域の伝統や文化が失われていきませんか？

**A**<sub>2</sub> 市町村合併は、それまでの地域を同じカラーで塗りつぶすものではなく、より大きな範囲で新しいまちづくりを考えようとするものです。合併後にも、それぞれの地域で育まれてきた歴史、文化、伝統などを尊重した地域づくりを行ったり、旧地名を残していくなどの工夫をすることで各地域の個性を生かしたまちづくりが可能です。

問合せ 政策財政課改革推進室  
内線 365

**2** 行財政の効率化が図れます。

合併により、総務、企画部門の効率化が進むとともに、一部事務組合である蓮田市白岡町衛生組合を設置し、こみなどを共同処理しておりますが、合併により運営事務の効率化が図れます。また、両市町とも消防事務を単独運営しておりますので、規模の拡大により、同様に効率化が図れます。

合併により、人口、約11万の新市となり、国などで言われている効率的な運営団体規模となります。

